

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	第12回西区アートフェスティバル 【事業費予算1,400千円】
事業目的・概要	【目的】 ・能登半島地震で大きな被害のあった西区を踊りやパフォーマンスで元気づける。 ・西区でアート活動に取り組んでいる団体等に発表の場を提供する。 ・大学などと連携を深め、学術・文化豊かな西区の魅力を発信する。 【概要】 ・西区自治協議会と新潟大学が共催で実施。 ・能登半島地震で大きな被害のあった西区を踊りやパフォーマンスで元気づけるため、「西区アートフェスティバル」を実施し、区民の地域交流を深める。また、西区にちなんだ多様な「アート作品」展示を行う。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<ステージ発表> 令和6年11月3日(日)13:00～16:00 黒崎市民会館 地域の8団体(うち1団体は映像出演)による踊りやパフォーマンスが披露された。 <アート作品展示> 令和6年11月2日(土)13:00～17:00、11月3日(日)9:00～16:00 黒崎市民会館 【作品内容】 ①新潟大学工学部によるアート作品 ②アール・ブリュット作品 ③区内小学生の自由研究優秀作品 ④新潟国際情報大学写真部作品 ⑤「わたしの西区自慢フォト&エッセイ」西区八景賞作品 <来場者延べ人数>:439人
事業の評価 <div>地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など</div>	◎アートフェスティバル 【地域課題の抽出とその解決策】 西区は坂井輪・西・黒崎地域の3地域で構成されているが、西区が一体となった文化活動を行うため、アートの表現活動に取り組んでいる方々に発表の場を創出し、大学等と連携を深め区民の一体感の醸成を図った。 【アンケート結果】 ◆調査方法: 来場者を対象に当日アンケート配布を行い、退場時に回答。 ◆有効回答: 220名 >「ステージ発表」はどうだったか [とても良い…70.2%、まあまあ良い…18.8%、ふつう…10.0%、やや不満…1.0%、不満…0%] >「アート作品展示」はどうだったか [とても良い…75.9%、まあまあ良い…21.1%、ふつう…3.0%、やや不満…0%、不満…0%] 【評価(成果)】 ・今回のテーマである「西区を元気に、あばれよう！おどろう！西区！」とステージ発表の内容がマッチして良い相乗効果が生まれたことで、来場者が増えた。 ・イベント開催前、開催後の新聞掲載や地域のニュースで取り上げられたことで、西区アートフェスティバルや西区で活動する団体を広く知ってもらうことができた。 ・新潟大学と連携した作品展示やワークショップにおいて学生と地域住民との交流が生まれ、受付業務などを自治協委員と学生が共同で行うことで世代間交流の場作りができた。 ・西区で活動している団体に発表の機会を提供することができた。 【課題】 ・長年アートフェスティバルというイベント在りきで進めてきたが、現在の西区にどういった地域課題があり、どういう目的をもって自治協提案事業として取り組んでいくか再検討する必要がある。 ・特別部会として希望する自治協委員で運営してきたが、マンパワーが足りない部分があり、部会運営の方法を見直すのも一つだと考える。
備考	